

新聞活用の実践について

長野県梓川高等学校 小 口 正 美

1. 本校の概要

☆明治43年 長野県組合立南安南部農蚕学校（梓・倭・安曇の3か村組合立乙種農学校）として創立。昨年（平成13年10月）創立90周年式典挙行。

☆松本駅から上高地線で20分余り、下島駅下車、徒歩5分で本校に至る。校地は梓川の河岸段丘上にあって、北方は安曇野を隔てて北アルプスの峰々を遠望し、東方は松本市街を見下ろして、さらに美ヶ原・鉢伏の高原を望むことができる。また、古くから安房峠を越えて飛騨と結ぶ交通の動脈である、国道158号線（旧野麦街道沿い）に位置する。

☆本年度在籍生徒数 515名（3年5学級，2年・1年4学級の計13学級）

☆卒業生の進路状況（昨年度）

進学 56% ⇒うち約半数は専門・各種学校への進学

就職 54% ⇒うち約7割は技能・製造・建設関係への就職

☆コース制の導入（人文社会・自然科学・福祉コミュニケーション・情報ビジネスの4コース）

4つのコース

人 文 社 会

国語・社会・英語などの科目を中心に学び、基礎・基本をしっかりと身につける。

自 然 科 学

数学・理科などの科目を中心に学び、基礎・基本をしっかりと身につける。

福祉コミュニケーション

介護福祉や家庭生活に関する知識と技術の習得をめざす。

情報ビジネス

情報処理・ビジネス（商業）に関する知識と技術の習得をめざす。

2. 新聞の利用について

① 学校の活動紹介 トピックスー

☆ 中学校訪問の時や対外的に配付する冊子で、学校行事や生徒会活動・さらにクラブ活動などについての新聞記事の利用。 ー別紙 (1)

*学校のPRになる。

*新聞で紹介されることによって、さらに生徒・職員の励みになる。

② 授業での利用

1) 現代社会（3年）－別紙(2)

- ☆ 最初、生徒に「朝、新聞を読んできるか」と質問したが、ほとんどの生徒はNo
ーかテレビ欄くらいしか読まない（見ない）と答えた。ただ、少数だが、政治・
経済に高い関心を持つ生徒もいて、その差は大きかった。
- ☆ 生徒に新聞記事を選んで持ってこさせ、授業で自分の意見をまじえて発表させ
るという試みを考えていたが、この時点で難しいと判断した。
- ☆ 50分間の授業の中で、1クラス約40人の生徒に、少しでも社会・経済・文化な
どについて、理解させるのにどのような方法があるか。
- ☆ 参考書と新聞の併用で、最初の30分は講義、そして15分でプリントを記入させ、
5分で答えのチェック、というパターンで授業をやってみたら、案外好評だった。
これによって、参考書をもっていない（無くしてしまった）生徒のフォローにも
なった。
- ☆ 授業の最初で、自分が朝読んだ新聞記事より1～2生徒に紹介し、生徒と直接
に対話することで授業の導入とした。

- * 3年生は、先に述べたように、政治・経済に関心のある生徒も多いが、「政治・
経済」というと、とにかく難しい、というイメージを持っている生徒がいかに多
いか…。
- * 去年の11月、NHKの「週間こどもニュース」のキャスターでお父さん役の池
上彰氏の講演を聞く機会があった。演題は「子供にニュースをどう伝えるか」だっ
たが、この番組は、大人たちがたくさん視ているという話を聞いて、なるほどと
思った。一般のメディア（テレビ・新聞など）の伝えることばは、時として大人
にも理解しにくいものがある。

2) 地理（1年）－別紙(3)

- ☆ 地理に関する新聞記事は、海外情勢などが中心で、あとは交通・通信や人種・
民族などが多い。
- ☆ 自分も加わって編集している副教材「ビジュアル地理」の中に多くの新聞記事
を取り入れている。新聞記事でも文章だけではなく、グラフや写真などが載って
いる記事がよい。

- * 地理においては、新しい情報が不可欠なので、いつも新聞に目を通すようにし
ている。使えるような記事があれば、授業でも印刷・配布している。

スイカ農家を先生に

梓川高 3 年生 地元の産業を学ぶ

波田町の梓川高校（山浦養校長）の三年生は八月三十一日、総合的な学習の時間に地元のスイカ農家の人たちと交流した。生産者の体験談を聞き、スイカ畑を見学するなど、地域の産業に理解を深めた。



生徒が生産者の話を聞くスイカ畑

畑を訪れ、収穫を終えたほ場を見学。生産者は畑に残ったスイカを指さして「孫づるに実ったスイカは中身が保証できないので収穫しない」などと話し、品質の向上に力を入れる努力を伝えた。

総合的な学習の時間の一つの目的として、地域の産業を学ぶため、初めて地元の人を講師に招いた。同校の卒業生がスイカ農家に面を掛け、指導してくれる人を探したという。学習の場は自分から積極的に何かをする時間。話を聞くだけでなく、今後より良い方法を検討してきたい」と話していた。

別紙 (1)

梓川高校
トピックより

将来役に立つはず

梓川高校 つつじ荘で福祉体験

松本市原の特別養護老人ホーム・浅間つつじ荘を聞き、居宅から食堂へで十二日、波田町の梓川高校三年生三人が社会福祉体験実習をした。同校三年生全員の実習で、約百八十人が近隣の三千八船で体験実習した。



車いすでの誘導を体験実習する高校生たち

つつじ荘には恵淑由木君と高沢雄太君、野中崇心君の三人が訪れた。ここを希望したという三人は職員に車いすの操作

や介護の際の注意事項など聞き、居宅から食堂へも交わり、「ありがと

良の歌謡や手唄、俳句付けなどを体験。中学生の時、同所を訪れたことがある野中君はじめ三人は、車いすの扱いにも慣れ、次々に食堂に誘導。途中ではお年寄りたちと会話をし、「ありがと

沖繩の伝統芸能披露へ あす梓川高校の文化祭で



文化祭で披露するエイサーを練習する梓川高校生

梓川高校（波田町）の二年二組の三十五人が、十四日に同校で開く文化祭「梓水祭」で、沖縄県糸満市の伝統芸能を披露しようとして練習に励んでいる。沖縄県恩納村で伝統芸能を披露している小波津直也さん（平良）と平良慎さん（三線）を講師に、太鼓を購らしながら踊るエイサーや三味線に似た三線（さんしん）に習熟中だ。

二年生は今年、全五クラスが沖縄を学習中。一学期は「沖縄のイメージづくり」としてクラスごとに同県の食文化や基地問題などを学んでいる。二組は「伝統芸能」をテーマにしており、文化祭で学習の成果を披露することになった。

小波津さんが男子二十二人にエイサーを、平良さんが女子十三人に三線を

を、十三日まで毎日三時間、みっちり伝授する。太鼓を隔らしながら体を激しく回転させるエイサーの練習に取り組み慣れない生徒は、踊っているとき、陽気な沖縄が見えてきそう。三線と一緒にうまぐやれたら気持ちいいでしょう」と木村を楽しみにしている。

波田町の梓川高校放送部は、第四十八回NHK全国高校放送コンテストのラジオドッキュメント部門で、優秀賞に初入賞した。野球部の部員を保護者らの協力などで乗り越え、公式戦で勝利を挙げるまでの取り組みを題材にした作品「ベンチ」の、テーマのさわやかさを高く評価された。創部初年度に全国大会入賞を果たした快挙に、関係者は喜びにわいている。

梓川高
放送部
全国大会で優秀賞

作品「ベンチ」に高い評価

作品には、自暴的な選手を見守る母親の涙目参加で部員不足に手を差し伸べ、バックネット裏に観戦用ベンチを設けて活性化の道筋をつけた父親の願い、そのベンチに集った

て選手を見守る母親の心算、手厚い協力を受けた選手や監督の胸中など、部を取り巻くさまざまなエッセンスを溶かし込んだ。全国大会は、二十四

の並べ替えなど構成に手直しを加え、より分かりやすい形で山出しな。同部門に全国七十

創部初年度の快挙に喜び

選で優秀賞を獲得した作品に、取材した素材

部員の本山かずみさん、二年、生田和徳君は「決勝に進めたことに驚いた。顧問の先生も取材にかかわってくれた大勢の人たちに感謝の気持ちでいっぱい」と、声をそろえた。顧問の斎藤俊樹教諭は「創部初年度で決勝に残るには、顧問や周囲との共同作業のほか、時の風」の後押しも必要。苦しいことに耐えたからこそ、風も吹いたのだろう」と教える子の成果を褒めらった。



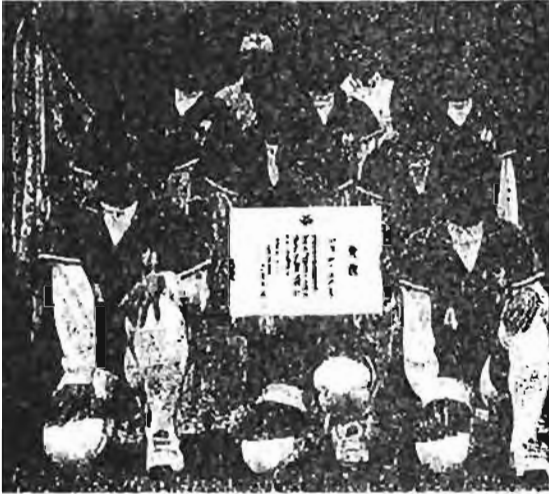
山浦校長に入賞の喜びを報告する山本さん(左)と生田君

少数精鋭で県大会連覇

梓川高女子ソフト部

総勢9人喜びひとしお

波田町の梓川高校女子ソフトボール部(多田尚合監督)はこのほど、上田市内で開いた県高校総体で連覇を達成した。昨秋以来部員不足に頭を痛めてきたが、今春、三人が入部。初心者の一年生を含めて総勢九人と百所事情は相変わらず苦しかったが、「少数精鋭」で栄冠を勝ち取り、喜びにわいている。



少数精鋭で連覇を成し遂げたソフトボール部メンバー

中値予選2試合をコールドで勝ち上がった進んだ県大会では、2回戦まで相手を霧封し、危なげなく準決勝に進出。優勝候補と目された長野商業との一戦は、先制を許しながら少ないチャンスを確実に得点につなげ、2

ーで逆転勝利を収めた。その勢いを決勝に持ち込んで須坂東を3ー1で押し切り、連覇を成し遂げた。初心者の新入部員を戦力として計算しなければならなかった状況での連

覇に、「二十数年の経験のなかで最短期間で結果が出たチーム」と多田監督。基礎の反復ばかりだった冬季の練習は、選手たちに強い精神力を植え付け、「試合ごとに強くなるのを実感し、結果を見る」と勝っていた。「持

今後は、十六、十七の両日、福井県武生市で開く北信越大会、八月には熊本県で開く全国高校総体が控える。昨年の全国大会は、初戦で0ー1と大敗を喫した。「少しでも一年生の攻守の基本を伸ばし、昨年より点差の開かない試合をしたい」と同監督。村松恵美主持

っている以上力が出せたと、部員に賛辞を贈る。

は「皆の実績が見られる試合をしたい」と奮闘に燃えている。

別紙 (2)

3年現代社会

現代社会復習用プリント 1 4 教P94~95

年 組 番 氏名

<日本経済の復興>

☆ 1945 (昭和20)年 (1) の終結→激しい (2)
食料事情の悪化→ (3) によって飢えをしのが

☆経済の民主化 (3大改革)

- ① (4) → 4大財閥〔 (5) ・三菱・住友・安田〕を解体し、大きな企業をいくつかに分割→企業間の競争を活発に
- ② (6) → (7) から土地を買い上げ、小作人に安く売り渡す。
小作農は (8) になり、 (9) 的な土地所有制度は崩れて、農民の (10) は向上し、農村社会は安定していった。
- ③ (11) → 労働者の (12) 権の保護を目的として労働組合法をはじめとして (13) が制定された。

☆日本経済の復興

①戦後復興期

- (14) 方式→ (15) や (16) などの産業に重点的に資金・資材を投入し、経済の復興をはかった。
- (17) → 1ドル = (18) 円に。
- (19) (1950~1953) → 軍需物資の需要〔 (20) 〕が増大、空前の好景気に。

②高度成長期

- * 「 (21) 」 1956 (昭和31) 年「経済白書」
- * 重化学工業の発達→ (22) の建設
- * 農業→ (23) へと労働力が移動した→農業人口の減少
- * (24) 方式の導入→大量の商品が流通→ (25) ・サービスの発達

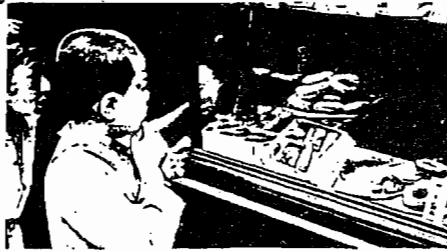
日本経済の成長と歩み

こんなに変わった

私たちの暮らしと経済

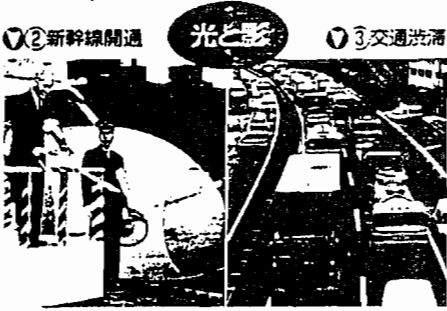
ものの
ねだんと
流行語

戦後復興期



① ケーキにつばをのむ。子どもたちにとっては高嶺の花だった。

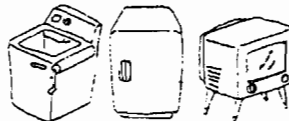
高度経済成長期



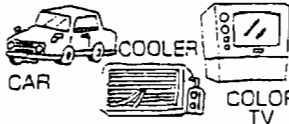
② 新幹線開通

③ 交通洗滌

● 3種の神器



● 3C



安定成長期



④ 省エネルギー

● バブル経済



⑤ シーマ現象 高級車を中心に高額商品が飛びように売れた。

(『毎日新聞』1995.8.4などより)

戦後復興期から高度経済成長期を経て、日本経済は大きく発展し、私たちの暮らしも豊かになった。石油危機(石油ショック)も合理化で乗りこえ、安定成長期に入った。しかし、バブル経済とその崩壊のなかで、日本経済の進むべき新たな方向が模索されている。



平均月給 ノート チョコレート

1950年

11,000円 24円 59円

「舶来品さようなら」
「もはや戦後ではない」

1960年

24,000円 20円 100円

「一生に一度のお買い物です」
(松下電器産業・テレビ)

1970年

74,000円 40円 111円

「大きいことはいいことだ」
(森永製菓・チョコレート)
「狭い日本そんなに急いでどこへ行く」
(交通安全運動標語)

1980年

257,000円 96円 223円

「24時間戦えますか」
(三井・リゲイン)

1990年

370,000円 114円 193円

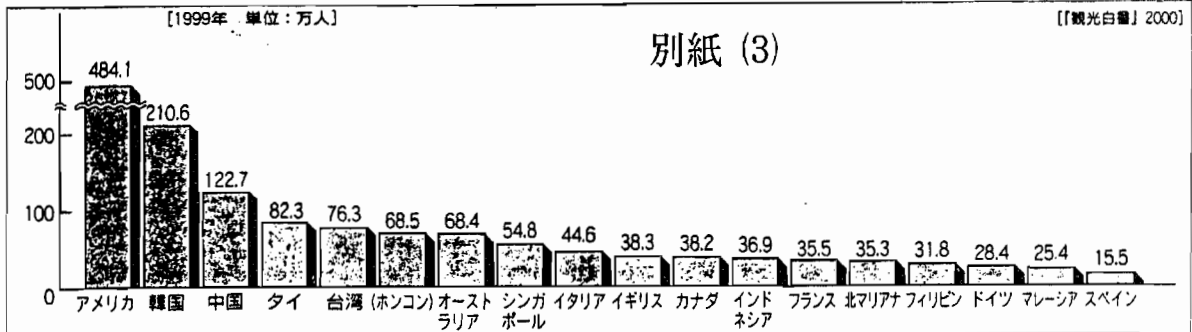
「いつかあんたも会社の肥やし」
(大日本除虫菊・ゴン)

1 経済の民主化(3大改革)

(日本経済新聞より)

	財閥解体	農地改革	労働民主化
内容	<p>財閥(三井、三菱、住友、安田)の4大財閥など13の財閥を解体し、その持ち株を一般公開することにより、財閥の支配力を失わせることが目的であった。</p> <p>財閥家族の指定 三井:11名 住友:11名 住友:4名 安田:10名 三菱:5名 野村:4名 など10家55名</p> <p>持株会社の指定(83社) 三井・三菱・住友などの大財閥から漢野・大原合資など中小財閥が指定</p> <p>譲渡株式 1億6576万株 75億1513万円</p> <p>持株会社整理委員会 有価証券の譲渡を受けて処理</p> <p>株式の民主化</p> <p>持株会社整理委員会 日本財閥とその親は 商社・銀行</p>	<p>第1次農地改革は、地主の土地保有を5町歩(約4.9ha)内として小作農に売却することになったが、第2次農地改革では、正村地主の保有を1町歩内とし、不正地主についてはすべての小作農を小作農に売却させることにした。</p> <p>●改革前と改革後のちがい</p> <p>改革前(1940年) 小作地 225万ha 自作地 328</p> <p>改革後(1950年) 52 都会に住む不在地主の土地も解放された</p>	<p>労働組合の結成を強力に促進。労働組合法、労働関係調整法、労働基準法の「労働三法」を制定するなどの措置。</p> <p>●労働組合数の推移</p> <p>大正日本の歴史</p> <p>1945 46 1517 23322 34688 33926 474849</p> <p>9 10 11 12 1 2 3 4 5 6 6 6 6 月</p>
成果	市場、とくに企業間の競争を高めることになり、経済発展の活力となった。	農業生産性の向上と、農民の所得・消費水準の向上に貢献した。	資金などの労働条件が改善され、その結果、消費も著しく増加した。

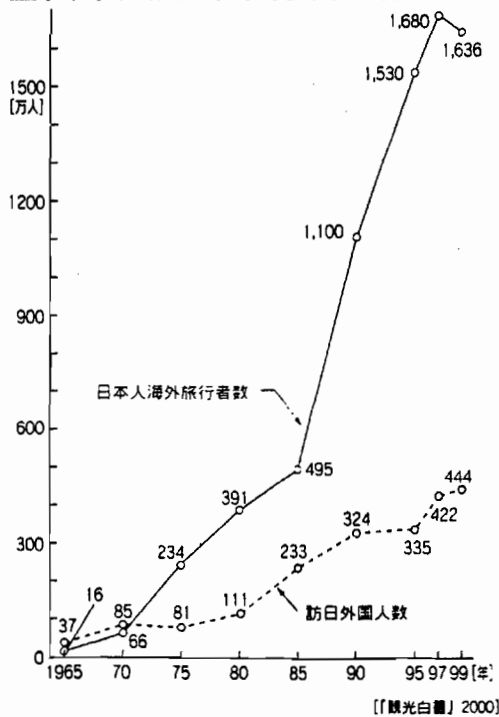
1 日本人海外旅行者の旅行先 「ビジュアル地理」(七折)より。



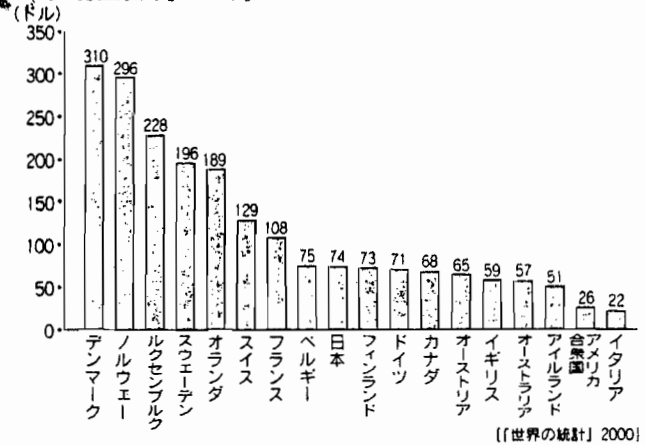
【いせつ】海外旅行者数は、国民の所得水準の向上、自由時間の増大、手軽に利用できる海外主催旅行の普及等により、1981年以降年々増加し、91年に湾岸危機の影響により減少したが、92年以降97年まで再び増加した。98年においては国民の海外旅行者数は、前年比7.9%減の1,581万人であった。その旅行先は近隣の韓国、中国、(ホン

ン)、台湾、シンガポール、タイなど東・東南アジアが約50%を占めている。近年海外旅行者が増加した理由は、航空機代が安くなったこと、海外なら近接地で食文化やショッピングを楽しむ機会が増えたためである。国別ではアメリカが最も多く、約16%を占めている。

2 日本人海外旅行者の推移



3 ODA実績の国民1人当たりの負担額 [1997年]



日本は政府開発援助(ODA)の総額が世界一だが、国民1人当たりの負担額で見ると世界第8位にとどまっている。経済大国の責務として、援助額をさらに増やすことが求められている。外務省の「ODA白書」によると、1995年の日本のODA実績は円ベースで1兆3,853億円(対前年比0.6%増)。ドルベースでは対前年比9.3%も伸びているが、これは円高のためだ。地球サミットが開かれた92年に比べて円ベースでは500億円も減っている。

【毎日新聞】1996.11.10】

4 光ファイバ通信

1980年代を通じて国内・国際通信を急速に拡大したのは、これまでの「電気通信」に比べ大きな利点のある「光ファイバ通信」の進歩による。第一の利点は、非常に高速の通信ができることである。「高速」とは光の速さではなく、1秒間に当たりどれだけたくさんの情報を送れるかということで、1990年の最高水準では1秒間に10ギガビット(100億個のパルス)、電話換算では、約15万回線分を1本の光ファイバの中に通せるようになってきている。

第二の利点は、中継器間距離を格段に長くできる技術であるということである。同軸ケーブル通信では、数千回線以上の高速通信の場合、たとえば東京～横浜を30km

とすると、15台以上の中継器を使わないと通信の品質が劣化してしまう。1990年に達成された光ファイバの中継距離の世界最長記録は364kmである。

1992年に使用開始となったTPC(Trans-Pacific Cable, 太平洋横断ケーブル)4は、太平洋を横断する3本目の光海底ケーブル。電話だけなら1万5,120回線が同時につながる。1964年に初めて太平洋を横断したのは、銅線で電気信号を送る同軸ケーブルで、回線数は138回線であった。(参考:大越孝敏「光ファイバ通信」、書店、「毎日新聞」1993.1.8)

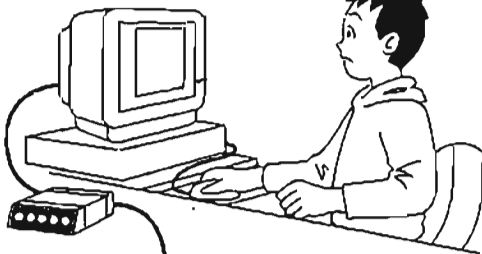
5 ホームページをつくろう

●ホームページが世界中から見えるしくみ

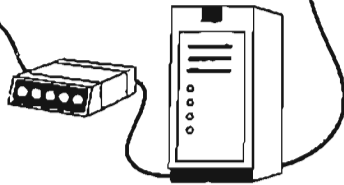
ホームページは、WWWサーバの上に置かなくては、世界中のコンピュータからアクセスすることはできない。

たいていのプロバイダは「ホームページ公開サービス」として、プロバイダのWWWサーバのディスクの一部をユーザ用に貸すサービスをやっているの、調べてみよう。

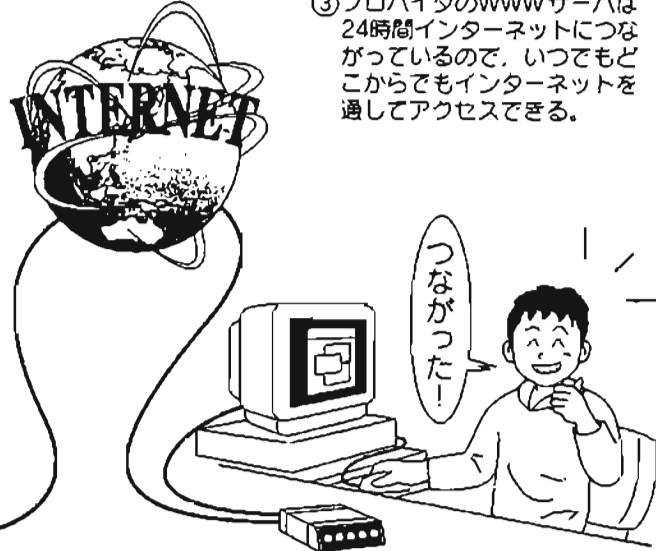
- ① 自分のパソコンでホームページのデータを作る。



- ② 自分の契約しているプロバイダのWWWサーバにデータを転送する。



- ③ プロバイダのWWWサーバは24時間インターネットにつながっているの、いつでもどこからでもインターネットを通してアクセスできる。



URLのしくみ アルファベットがたくさん並んでいて、わけがわからなく思えるけど、ちゃんと意味があるのだ!

<http://www.sekaibunka.co.jp/index.html>

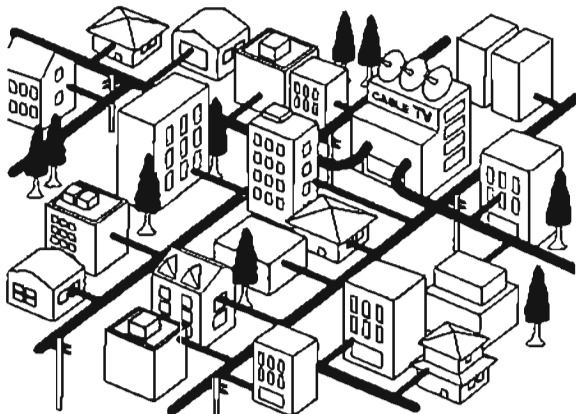
プロトコル名	サーバ名	ドメイン名	ファイル名
http://	www	.sekaibunka.co.jp	/index.html

WWWサーバだよというめじさし。 2つ合わせてインターネット上の「住所」を表す。この部分でどのコンピュータの上にある情報が判断することができる。

〔マルチメディア子ども大図鑑〕世界文化社による。

6 ケーブルテレビのしくみ

●自主放送を行うケーブルテレビ



ケーブルテレビに加入すると、NHKなどの地上波放送のほかに、BSやCS放送をはじめ、CATV局が独自に制作した自主放送番組などを見ることができる。CATV局は地域に密着しているの、こうした自主放送番組の内容は、近所感覚を生かしたユニークなものが多い。

【かせい】ケーブルテレビ(CATV)の本来の目的は地形の制約により、放送電波が届かない場所でのテレビ放映にあった。現在は各CATV局が独自に番組を制作し、より地域に密着した情報を提供できるようになっている。

●再送信を行うケーブルテレビ



山や超高層ビルの谷間は、地上波による放送電波が届きにくい。そればかりか、山やビルに電波が跳ね返ることで、画面が二重三重に映ってしまうこともある。このため、CATV局は放送局から発信された電波をケーブルを使って家庭に再送信している。

〔マルチメディア子ども大図鑑〕世界文化社